（廿四日夕刊）
磐城新聞
休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵稅十錢
廣告料（雜報欄行五十錢　場所指定三十錢增）
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

再解散の根據

現內閣の責任此處に在り

谷中生

◎再解散乎、總辭職乎。それとも抱き込み切り崩しの暗躍功を奏して辛うじ特別議會を驅け拔け得る乎。共産黨事件によりて搔き立てられた國民の社會問題的思想問題的關心は、その巾廣さをそのまゝに持續しつゝ今や政治問題、當面の議會の問題に轉移しやうとして居る。漸く政治に冷淡ならんとしつゝあつた國民の大衆も政治に冷淡なるかの口吻を弄することによりて一種の誇榮感を滿足せしめつゝあつたインテリゲンチヤも正直眼前の政局には滿身の神經を動員せしめらざるを得ざるに至つたのである。

◎副議長選擧の結果を基礎として觀測し誤りなくば、再解散の公算は頓に增加したやうである。折角ヒン握つた政權を一年やそこらで拋り出して堪るものかとの黨人心理の支配するところ、恐らく再解散を奏請するに至るであらう。再解散の根據として最近、閣議に於て決定したと傳へらるるものは、政局不安を理由とするものと、今一つは共産黨事件の善後處置を理由とするものとである。

◎然も我等をして直言せしむれば、この第一の理由は解散の根據として殆ど意義をなさないものである。二大黨の勢力伯仲して、此の間に介在する少數黨がキヤスチングヴオートを握るが如き政局は、不安な政局たるには相違ない。斯くの如き不安な政局が、國家の前途上よりして決して利益でないことは論なきところ政局の不安を斷離せんとする內閣及び與黨の意圖は、意圖としては僅かに歡迎に値するのである。然し乍ら不幸にして假定すべか[illegible]が故此の歡迎すべき意圖は遂に單なる意圖たるに終り毫頭の實現的暗示を含まない。現內閣及び其の與黨は現內閣による再解散の斷行が不安なる政局を安定し得るものと豫期して居る。之を豫期しての政局不安を理由とする再解散論なのである。

◎解散によつて現前の政局が安定せられ得る場合は二つある。一は政府及其の與黨が豫期する如く政府黨が絕對多數を贏ち得たる場合である。他の一つは總選擧の結果政府黨が絕對少數黨となることである。此の二つの場合孰れに於ても政局は一先づ安定するであらう。然も我等の觀るところ再解散の結果は、此二つの場合孰れをも招來しないと思はれる。最も安全に豫測し得ることは二大黨伯仲、中間少數黨專制の現前の勢力分布は、再解散後、再總選擧後の議會に於ても依然として繰返されるであらうといふことである。國民は二大既成政黨には均等倦み切つて居る甲乙なく既成政黨、愛想をつかして居るといふことは國民の心理に於る鐵則的事實である如何に巧妙に如何に賢明に政府側が選擧干涉をやらうとも此の鐵則は動かせない又野黨が如何に民衆の味方であるが如く媚言を弄して人心を煽揚しやうとも此の鐵則は動かせない從つて此の不安なる政局の狀態は再解散後と雖も依然として繰返されるものと見て差支へない。政治家及び政論家の常識は此の豫測の容認を吝まぬであらう。然らば政局不安を招來することを瞭然と見込しての政局不安を理由とする再解散は全く意議をなさないことになる。政府側の理由として高唱するところは常識眼より見るも戯言たるの性質を出でない。

◎共産黨事件の善後策處置を理由に再解散の根據は一應納得せしむるに値するに値するものがある。然も共産黨事件の善後處置が「現內閣の責任」であることを妥當化するがためには一の條件が必要である。野に在る大政黨が此の善後處置に當り得ないといふきめをつけることである。此のきめは舊勞農黨所屬二代議士の除名決議を野黨が否認するか贊同するかの一擧に依つて決定せられる二代議士の除名決議を否認することは同時に共産黨の善後處置は現內閣の全責任なることを承認することの必然の論理的結となるのだ。

明日の吉凶

舊暦三月六日　新暦四月二五日

△一白　小成に安んじ易くして持續心に乏しき日なり
△二黑　文書は餘程注意せざれば憂ひを殘すことあり
△三碧　小利にくらみて大勢を誤ることあり
△四綠　基礎を固め拵らぬとも粘り強くするが吉
△五黄　思はす知らず無理心の生ずる日注意すべし
△六白　正しき道に依れば何事も通達する強運の日
△七赤　商略は目上に謀りて違算なき樣注意すべし
△八白　中和を祈れば無事なるも進展を望めぬ日
△九紫　待ちに待ちたる甘露の日和となるべき吉日

講談

關東男達

(71)

高田浪川作
尾形雪麿畫

小兵衛から果し狀

果し狀といふものは左封じにしたものである、當時使を托されたものは、小兵衛方に食客をしてゐる信州無宿の喜造といふ刑狀もちであつた。

「喜造、手めねを使つてすまねがこれを木更津藤兵衛の宅まで屆けてくんねね」

小兵衛は喜造に依頼した

「へエ承知いたしやした」

早速藤兵衛の宅へ來る

「ご免ねね鶴見の源氏車の親分の所からめいりやしたがこれをこちらの親分に見せお返事をいたゞいてけえれといふことですよろしくお取次を……」

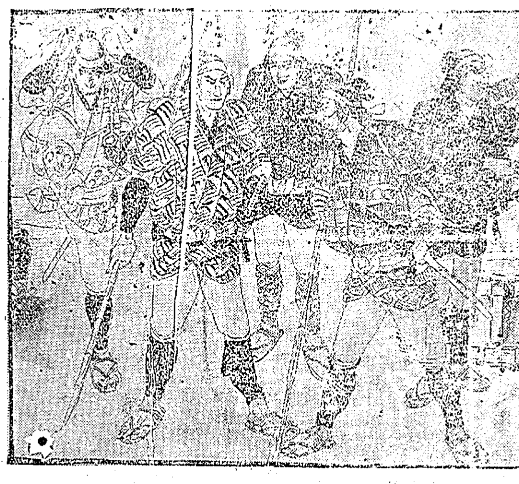
果し狀を差し出した取次に出たのはお多福の新吉であつた。

「ハヽア小兵衛の野郎果し狀をつけやアがつたな性こりのねえ野郎だ」

新吉は左封じの書狀をもつて奧の一室へ來た「親分めねりやしたよ」

「何が來たのだ」

藤兵衛には分らない



「小兵衛のやつが左封じの書狀をもたしてよこしやがつた、果し狀に違ひねね」

「さうか、よこしたかあまりそいからどうしたかさ思つて居たんだ」

藤兵衛は早速封じ押しきつて見ると男の意地により雌雄を決したい、場所は六鄕河原日は八月の七日刻限は夜半とし双方六鄕河原へ出張ることゝ認めてあつた

「ウム六鄕河原とは場所もよし、七日のやみを幸ひたいまつをつけてこつちは北の河原で待つことにしやうサア新吉よろしい、承知をしたと返事を書いてやんねね」

「へエよろしうごぜいやす」

新吉は返事を認め助勢はいくらあつても苦しうないとまで書き添へ喜造といふ使ひに渡した。

八月の七日まで今日から三日あるすぐ樣政吉はじめ身內の者にこの次第を沙汰する、その人數が丁度三百六十余名あつた、三度のめしより喧嘩の好きな連中の集まりだからいよ／＼明後日果し合と聞き小をどりして喜ぶ者ばかり今度こそは鶴見の身內のやつら一人も殘さずやつてしまへと大元氣である、藤兵衛はこのことを金五郎に話した。

「よろしい、それでは小兵衛の方には品川の敬次一家のものが味方するだらうが俺は浪人者を引受けることにしやう、親分には小兵衛と敬次の身內を相手に一あわふかしてやんなさい、決して不覺をとることはねねから安心をしなせえ」

金五郎は既に敵をのんでゐる。

「どうもとんだごやつかいをかけてすまねえがよろしく願ひ申しまする」

藤兵衛は金五郎の助勢を一同に語る、皆の者は手ごわいと思ふ浪人を金五郎が引受ると聞き大滿足で度の喧嘩は勝ちにきまつてると命のやりとりも忘れてはしやぎ出した。

鶴見の小兵衛は藤兵衛が委細承知の返事を受取り木原源八郎方に通報し更に品川の敬次にも助勢を求めたいよ／＼その日の七日となる敬次は百六十五人の身內をつれて加勢に來る小兵衛の手のものは百八十餘人それに島田、石上、關谷、相澤の四浪人に砲術の先生木原源八郎の五名を遊軍とし竹槍、長わきざし、短刀などの得物々々をもち白の向ふ鉢卷に白たすき足もとのこしらへも嚴重に六鄕河原へ押出した、

藤兵衛の方でも間者を入れ先方の動靜をさぐらしてあつたから一同眞赤の鉢卷に同じ色のたすき三百餘人が勇んで乘り出すことゝなつた。

「ネエ親分、今夜の喧嘩は要するにこつちが勝てばよいので別に向ふを戮するのが目的ぢやありますまいよつて逃げる者に目をくれずなるべく相手を殺さねへ樣傷をつける程度にして貰ひたい」金五郎は藤兵衛に注意した。

花見のお供に
松本のパン

ウズマキ	5錢
バンズ	5錢
プラム	5錢
ミツワ	5錢
レモン	5錢
松本パン	5錢
フイツシユ	5錢
ジヤムサンドウ井ツチ	5錢
黒パン	5錢
食パン　1斤	16錢

マツモトヤ
平町四丁目
電話二一四番

◇報知新聞連載中　原作吉川英治　監督志波西果　連續大劍史第一篇十二卷
江戸三國志
◇廿六日ヨリ　燦然たる珠寶の名編
◇松竹キネマ超特作品◇
脚色…大塚稔
林長二郎が十八番の一若くして美しき長二郎が實演其まゝの淺太郎人間の肺腑を衝く愛と溫情の哀史ト劢の長脇差
板割淺太郎
主演…林長二郎
◇松竹キネマ現代作品
脚色　村上德三郎
監督　池田義信
苦しき涙に綴られし本映畫こそ世のモダンガールに示し度いと作者が創作し絕叫した加ふるにすみ子が一世一代の熱演
紅涙悲曲
戀の別れ路
主演…栗島すみ子
入場普通
土曜日曜學生デー
東北に於ける映畫の殿堂
大日活大松竹
高級常設
平館
電（四六六）

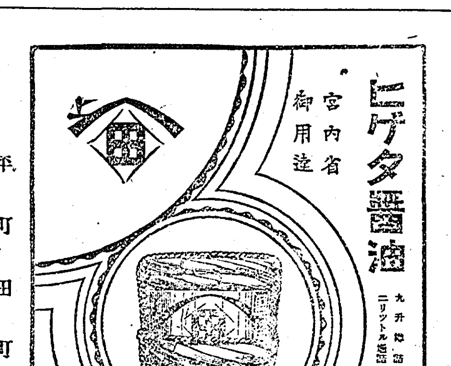
◎御注意
弊店事各位の御愛顧によりまして日々隆昌に趣き厚く御禮を申上ます。扨て最近ツルヤ店員なりと疑稱し市內及各所を販賣する者があるそうですが弊店にては御注文の他、絕對に訪問販賣は致しません故右樣の詐欺にお懸りなさらぬ樣取急ぎ御注意申上ます
ツルヤ商店
平町四丁目（電一四〇）

行樂の春！
御散策の御歸りに
おみやげはゼヒ
オモチヤのいづみやへ
お子樣方の一番喜ぶ
目新しいオモチヤや
トテモ可愛いゝお人形が
いつも豐富に陳列して御座います
川口式ハーモニカ、大正琴、
特價提供！
平驛前　**いづみや玩具店**

◎新茶賣出し◎
若葉匂ふ行樂の春御待ち兼の根本園の新茶馥郁たる香味、他日千金を投ずるも味はひ難し
新茶はヴイタミン多量に含有して殊に殺菌力に富み衛生ご滋養を完備せる經濟飲料界の王なり
香味佳良　根本園の茶　卸小賣
安くて評判の根本園の
家庭ホージ茶
根本園茶店
平町四丁目（電二二七）

新築移轉
特價大賣出し
新綠の砌り各位益々御多祥の段大慶の至りに存じます。小店儀毎々格別の御愛顧御引立を蒙り誠に難有厚く御禮を申げます。就きましては今回從來の店舖手狹の爲左記に新築移轉の上尙一層業務擴張仕度來る四月二十一日より后七日間記念として特價大賣出し開催期間中御買上の多少に不拘洩れなく粗景呈上致すべくに付何卒倍舊の御引立御用命の程を伏して御願ひ致します。
敬具
釜屋商店前
時計各種、貴金屬、裝身具、眼鏡類
金光堂時計店
平町五丁目（電七三六番）

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋
(久)**釜屋商店**
諸橋久太郎
電話　九番　一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり



ヒゲタ醤油
宮內省御用達
九升樽詰
二リツトル瓶詰
銚子醤油株式會社
平町田町
特約店
廣瀨支店
電話五四番

季節向御料理大勉强
愈々公園の節
廉賣
親切
叮寧
第一
松ケ岡公園地ノ端
割烹　**ときわ**
電話二二六番

深キ經驗ト
正シキ學理ヲ基トシテ
最新ノ設備ト
優秀ナル技巧ニ依リ
多產廉賣
益々聲價漲ル
萬年瓦
仙臺高等工業學校試驗證明
鐵道省
福島縣廳
栃木縣廳
青森縣廳
指定品
福島縣四倉町
萬年瓦工業株式會社
電話三八番

平町郊外關ノ上
土木建築請負　**強口唯七郎**
電話四〇一番
砂利、砂は御用命あり次第多少に不拘迅速に御屆けいたします

內科。外科。婦人科。
小兒科。花柳病科。
磐城病院
平町田町本通り
入院隨時
（電話一一四番）

內幕から暴露れて 揉める有聲座

借金の鎗繰り算段で 或は表沙汰に

平町驛前の活動常設館有聲座は同町三丁目旅館山本屋增住良吉外十餘名の合資組織で敷地百七十二坪を驛前旅館住吉屋支店**酒井清から借受けて**建築し其將々の貸小屋で組合の利益を見込んだが思ふ様でなく數年來前記活動常設館になつて一ケ年一千八百圓乃至三千圓の長期契約の下に苦しい凌ぎを續け出資者連は本年で八ケ年の無配を見てゐるが最近同劇場が銀行から借受けた二千圓の負債に去大正十五年一月五百圓の內金返濟後**一文の利**子を入れないので競賣手續の通告を受けそれだけなら大した問題でないが昨年八月同社決算總會には銀行の借入其他一切の支拂ひが濟んで尚五百圓位の剩餘ある様に報告されてゐるため株主連の驚き一方ならず代表者である無限責任の前記增住良吉氏を詰責してゐるが同社の內幕には種々なる情實があるので去廿一日夜同町料理店鈴巢亭に出資者連が首を集め役員の背任行爲を表沙汰にし來る八月の滿期總會に於て**解散を決**議し同社の新規建直しを行ふことに大體多數の腹がきまつたらしいが夫れ迄に一と悶著があるやうにも見られてゐる

盛りがよいとて 支那そばや御難

言葉が通せぬ爲め 昨夜車夫に毆らる

平町字二丁目横町人力車挽子田邊一夫（二七）は昨廿三日午後十時三十分頃通り合せた支那そばや當時平町字南町居住中華民國浙江省生の林耀飛（三五）に支那そば三ツを注文したが平常よりもりがよかつたので不思議に思ひどうしたんだと聞いた處ろ支那そばやは「そんな事はどうでも」と言ひながら正夫の肩に手を掛けたので支那人に毆られたと誤解した正夫は憤慨の餘り喰ひかけの丼を支那人に叩き付け顏面數ヶ所に全治二週間を要する傷害を負はせたで直ちに平署に逮捕され目下取調を受けてゐる

論壇

嚴正批判

共産黨事件を見て

荒木生

◇共産黨事件で狼狽してる向もあるが、要するに政治家はもつと眞面目に人間にパンを與へることを考へなければ何にもならない、職業がなくパンにありつけないことが思想を惡化するのだ、民力涵養の干からびた講演をいくら聽いても腹はくちくならない、我に職業を與へよ、而してパンを與へよ――と云ふ悲痛な叫びを政治家は何と見る。

◇有權者などは、もう少し斯う云つた方面を考へて候補者を擇ばなければならぬと思ふ、ブローカーをして名を成さしむる勿れブローカーは滿腹し有權者は飢ゆでは何にもならぬではないか。

◇職業を與へるといふ事が何より大切だ。天下の富豪にもつと金を出すべきである、事業を起すべきである年に百萬や二百萬の金を捨てたところで高いものではない、なぜかと云ふに無産黨が大きくなり議會の大勢を掌握したら何とする、革命は怖ろしくないが議會の決議は怖ろしい、重税案の如きを設け、議會が通れば三井も三菱もペチャンコになる、それは合法的に出來ることだ革命では議會の決議權の範圍に於て成し得ることとなのだ。

◇社會不安は貧乏の殖ること、にあることにあることは云ふまでもあるまい、金持は反省すべきであると共に政黨も反省すべし、金持の手先になつたら滅びる、私が政友會に向つて自由黨の昔に還れ、と云ふのはこの爲だ、互同志の力ある握手以外に他に力を求めてはならない、官憲が何だ、金力が何だ、まで行かなければ政友會は滅る。

◇今日の既成政黨は政友會でも民政黨でも似たものだ、民政黨が何事にもお喋りかふりこうに立廻つてゐるといふ丈けのことだ、仕事の分量から云つたら永く政權を握つてゐた丈けに政友會にうちは上がる、それだけのことだ

◇政權爭奪に血眼になつてると大衆の生活はだん〳〵苦しくなる絶海の孤島に死をまつやうなことになる、私は政治家の不眞目さに鞭打ちたい、彼等の厚顏を面罵したい、而して我々大衆の時代は何つ來るのだと思ふと暗然たらざるを得ない。

◇我々は冷然としてはゐられない我々の生活のために奮起しなければならぬ、有權者に向つて叫びたいのはこの點である、惡玉を排斥する、口と手ばかりの政黨を叩き潰す、肚と力の政黨を改革する政友會に入黨したのは盲從せんがためではない、改革せんがためだ幹部の專制に許さない、黨員の意向を考へよ、と力說する、我々同志はどこまでも眞劍に進まふではないか詭計や詐術で政治をするのは古い手品だ。勝敗は敢て問はずお互は純情をもつてどこまでも戰はうではないか。

◇闘爭と批判、それは我々若い者同志の生命ではないか、闘はふ爭ふ、そして我々の――大衆生活に即した政治を一日も早く實現しやうではないか。私は近頃そういつたことばかり考へてゐる

全身黑焦げ

高壓線にふれ 荒川の山林で

飯野村大字上荒川字辨天天農猪狩猪之助が昨廿三日午前八時頃同村地內の山林に蕨取りに行き東部電力會社の五萬五千ボルト高壓線の[illegible]黑焦[illegible]の屍体を發見驚ろいて平署に屆出たので平署から市毛部長が急行検視を遂げたが所持品其の他全身まで眞黑焦となつてゐるため身元原因等全く不明であるが場所柄だけに自殺である事に疑ひなく平署では目下身元の調査中であるが屍体は死後一晝夜を經過したものであると

夏井川や鮫川に 鮭の稚魚浮遊

六寸以下は捕つてならぬ 八釜しい取締方針

本郡夏井川、鮫川等の各河川には今月末頃から五六月にかけて鮭の稚魚が溯上して來て盛んに游泳してゐるのを見受けるが何も知らない子供や漁師はむやみと之を捕獲するが、もしもお巡りさんに發見されると漁業法違犯として「六寸以下」の鮭の稚魚をとらへたものは十日以上の拘置、又は十圓以上の科料に處す」と云ふ重い處分を受ける事になるが年々巨額の費用を投じて鮭の人工孵化をやつてゐるに拘らず年々各河川に溯上してくるのが減少の傾きがあるが之は稚魚の內に濫獲するのもその一因であるといふので本年からは一層取締を嚴重にして人工孵化事業の助長發達を圖ることになつた

內郷自治會

思想善導が目的

石城郡內郷村の青年山崎喜一氏外十餘名が發起となり內郷自治會を組織し二十二日午前十時から同村森逢學校に於て創立發會式を擧行したが今回は青年の思想善導の目的から組織されたもので政黨關係はなく二十五歲以上の青年が團結することになるため將來の活動を囑目されてゐる

病源の系統は

依然不明

續發して行く 平町のチブス

平町の腸チブスは終熄の模様も見せず續發する一方にあるがこれがため縣衛生課からは伊藤防疫醫並に齋藤技手の兩氏が來平し目下これが豫防法を講じてゐるが現在の患者數を町名別にすると新田町の九名が筆頭にして同地帶を中心に二丁目揺槌小路、一丁目南町の一角が最も患者數が多く他は殆ど一名乃至二名の患者だけなので病源地は新田町と見られ今後の續發を防ぐためにこれ等町區に居住するものに對しては近く一齋に豫防注射を行はしむる事となつた、更に廿三日から患者發生地附近の飲食物の嚴重檢査を行ふ事となり各方面からこれが徹底的撲滅を計ることゝなつた

山田家の迷惑

平町

三丁目山田忠太郎氏夫人乙壽氏は目下磐城共濟病院に入院加療中の處一部新聞に逝去したかの旨報導されたが右は全く誤傳で山田氏は非常に迷惑してゐると

義太夫大會

明晩聚樂館

平町義太夫同好者より成る若葉會では二十五、六の兩日午後六時より聚樂館に於て素人義太夫春期大會を開く事となつたが大方來聽を歡迎し語物は左の如し

△初日語物

△御祝儀賀の入舟（登太夫、鈴ケ森の段（錦孝）本能寺の段（里子）宿屋の段（豐之助）毛谷村の段（古柳）酒屋の段（桝夫）道春館の段（若玉）聚樂町の段（錦祥）沼津里の段（錦太夫）

△二日目語物

辨慶上使の段（巻野）順禮歌の段（桝夫）五郎助住家の段（さん子）政岡忠義の段（若玉）寺小屋の段（古柳）尼ケ崎の段（錦祥）お俊傳兵衛猿廻の段（錦太夫）

主人を宿に置去り 藥屋の番頭が逃走

慌て出して平署へ訴出つ 賣掛金を横領

奈良縣高市郡畝傍町藥種問屋山口松三郎方雇人坂本常次郎（三六）は數日前から主人松三郎と共に貸金の取立てに來平し平町四丁目和泉屋旅館に止宿中昨廿三日午後三時頃買物に行くと稱して宿を出たまゝ歸らないので不審に思つた松三郎が知合の在平名藥種屋に問合せた處貸金百餘圓を取り立てた事實があり取立金を横領逃走した形跡があるので驚ろいて平署に同人の行方捜查方を願出た

濱三郡の

春蠶掃立數

前年度と同樣

双葉郡久之濱蠶業取締支所管內石城郡一圓及び双葉郡南半部の本年度春蠶狀況は一般當業者に於て絲價安のため放漫な掃立を廢し自家勞力並 桑葉の範圍で養蠶せんとする堅實なる方針を採つて居るが掃立枚數に於ては前年と大差なく双葉七千百四十三枚、石城一萬六千四百六十八枚、合計二萬三千六百十一枚見當と見られ尙桑葉の伸長は前年に比し稍良好であるが最近蕊止玉蠅が發生し被害も相當あるものゝ如く或は之れが爲め桑葉の不足を告ぐるではないかと

土藏師の被疑者

各地を荒し廻つて 平署に逮捕さる

平署の柴崎刑事は昨廿三日午後三時頃內郷村綴驛前附近を密行中擧動不審な勞働者体五十七八歲位いの男を發見本署に引致嚴重取調たところ此の男は當時住所不定無職西白河郡戸關村鈴木繁次（五七）で去る三月廿二日夜好間村大字上好間隈田川炭礦篠原末吉方から價格三十五圓のオーバー一着外衣類數點、四月十五日夜赤井村大字赤井鈴木キミ方から兎毛皮代十五圓分を竊取した旨自白したが此奴は多年破藏を常習としてゐたもので或は去月中湯本町に於ける大破藏の眞犯人ではないかと觀られ更らに嚴重な取調を續けてゐる

酌婦水仕の

觀櫻會

けふ公園で

媚と笑ひを唯一の資として其の日を送る哀れな闇の女にも人並みに春を享樂させてやりたいと言ふので平町三業組合では今廿四日午後一時から酌婦、水仕八十餘名を正客に飯食店の主人や女將が總出動で松ケ岡公園に花見を兼ねて一大慰安會を催した

講演會

平町で開催

日本力行會平支部主催のブラジル事情講演會は廿二日午後二時から平町元郡會議室に於て開會講師森喜代一氏より同地に關する詳細な講演あつた後平町會議員佐々木龍若氏の「移住は大和民族の大精神なり」と題する講演があつた

日活特作

『續水戸黄門』愈封切

十五日全國一齊

日活の春季超特作光圀鄕三百年記念映畫として池田富保監督、原作、脚色、山本嘉一、河部五郎、大河內傳次郎、尾上多見太郎、松本泰輔、岡田時彥酒井米子、梅村蓉子、伏見直江他オールスターキャストの「續水戸黄門」（二十卷）は井上英一、中西與之助撮影で晝夜兼行にて大馬力をかけて過般來撮影して居るが大分進み近々完成の手筈になつたので愈來る十五日全國一齊に封切公開するといふ。この映畫は同社昨秋の特作（尊王攘夷）以上に人氣を呼ぶことであらう

●（大瀨の半五郎）

松竹下加茂の星哲六監督は林長二郎主演で次郎長外傳「大瀨半五郎」に着手したが一行は兵庫縣相生港に向けてロケーションに行つたカメラは圓谷英一が擔當して居る完成の上は大いに期待に添ふものがあるであらう。

日活映畫「續水戸黄門」

ノー・タルの 紅き線の物語

ビリー・ダブ・ループ・ヴエルツ・ジョージア・ヘール・マーナ・ケネディ等の女優達はダグラスやチャプリンの相手役に選ばれてから有名になつた、それと同樣にノーマ・タルマッヂの相手役を勤めた男優は總て名を擧げて居る、十四年以前にはジョン・バンニー・モリス・コステロ・レオ・デラーニー・ユージエン・オブライエンそれからアントニオ・モレノはヴアイタグラフ社時代にロナルド・コールマンF・N社時代にそれ〴〵彼女の相手役を勤めて認められたのである最近では彼女のユナイテツド・アーチスツ入社第一回主演映畫「紅い鳩」の相手役ギルバート・ローランドが今日美男の代表者として謳はれる樣になつたのは彼が彼女の「椿姬」に相手役を振りあてゝ以來であると。

ネグリ孃が獨立して「ナナ」作製

パラマウント社の花形ポーラ・ネグリは同社を去ると傳へられて居るがフイルム・デーリー紙はライ退社後の彼女は獨立してゾラの傑作「ナナ」を作ると報じて居る。

『寶探し』に代る別の懸賞

嶄新奇拔な方法を發表

本社七週年記念事業の一として計劃した『寶探し』の快擧は二十二日正午より午後三時まで松ケ岡公園に於て擧行する旨發表するや時節柄好個の企てなりとして各方面より白熱的歡迎を受け當日の盛況蓋し想像に難からぬものあり非常に期待されてゐたが折惡しく當日は朝來雨天と變つた爲め折角の計劃を遂行し得なかつた事は讀者と共に遺憾とする處であるが本社は更に嶄新奇拔なる別の方法により同じく割增金三千圓付復興債劵十圓劵二枚（別に山野邊藥局寄贈の副賞付き）を懸賞させる計劃を遂行し讀者各位の御期待に添ふべく考案中であります

詳細は二十五日夕刊に發表

磐城新聞社

祝創刊七週年

資本金壹百萬圓
磐城小名濱港（電六六）
磐城水産工業株式會社
社長 小野晋平
支配人 福尾伊太郎

磐城小名濱町（電二八）
磐城海岸軌道株式會社
社長 中野浩忠
支配人 丹野寛平

磐城小名濱港（電三三）
小名濱商事株式會社
社長 小野晋平
專務 小野務平

小名濱町
郡司二郎

小名濱漁業組合
組合長 立花雄七

石城酒造組合小名濱支部
草野良太郎
近藤彌平
吉原與平
佐原きよ
小野晋平
小野ユウ子
柳內芳之助
齋藤末子次郎